

## 第五章 ジュゼッペ・ゴルジアーノ

ホームズ、グレグスン、そして私は、高く赤い建物の外に立っていた。

すると突然、通りの反対側にあったタクシーから背の高い男が降りてきて、私たちのところへやって来た。

グレグスン氏は彼の方を向き、「レバートンさん、こちらはシャーロック・ホームズさんです」と言った。

そしてホームズの方を向き、「こちらはアメリカのピンカートン探偵社のレバートンさんです」と言った。

「お会いできて大変うれしく思います」とホームズは言った。

「あなたはいくつかの重要な事件の英雄ですな」

その若いアメリカ人は、ホームズの言葉に恥ずかしそうにした。

「私は今、人生で最も重要な事件に関わっています」とレバートンは言った。

「もしゴルジアーノを捕まえられたら…」

「何だって！ 赤い輪のゴルジアーノのことですか？」とホームズは尋ねた。

「おお、彼はヨーロッパでも知られているのですか？」とレバートンは言った。

「アメリカでは、彼のことは全て分かっています。彼は 50 人を殺した恐ろしい犯罪者で、私は彼を逮捕したいのです。私はニューヨークから彼を追ってきて、ここロンドンで注意深く彼を見張っています。グレグスンさんと私は、彼を追ってこの建物までやって来ました。ここにはドアが一つしかないのです、彼は逃げられません。彼が入ってから 3 人の男が出てきました。しかし、彼はその中にはいませんでした」

「ホームズさんは信号について話していたんです」とグレグスンが言った。

「彼がわれわれより知っているのは確かですよ」

ホームズは、私たちが知っている全てをグレグスンとレバートンに説明した。

「ゴルジアーノは、私たちが彼を探していることを知っています」とアメリカ人の探偵は言った。

「どうして分かるのです？」とホームズが尋ねた。

「だって、そんなふうな様子なのですからね、そうでしょう？」とレバートンは言った。

「今晚、彼は赤い輪の党員にメッセージを送りました。ここロンドンには何人か党員がいて、彼らは私たちが彼らを探していることを知っているのです。私たちはどうしたらいいでしょう、ホームズさん？」

「私たちはすぐに上がって行って、確かめないとなりませんね」とホームズは言った。

「でも私は彼を逮捕することができません」とレバートンは言った。

「私は逮捕状を持っていないのです」

「あの男は自分の家でもない空っぽのアパートにいるんだ」とグレグスンが言った。

「やつを逮捕するのに十分な理由ですよ。そして、おそらくニューヨーク警察がやつを刑務所に置いておくのを手助けしてくれるでしょう」

私たちは建物の中に入って行き、レバートンは殺人者を真っ先に逮捕するために階段を駆け上った。

しかし、グレグスは自分が一番になりたくて彼を押しつけた。

結局のところ、グレグスはロンドン警視庁の一員であり、私たちはロンドンにいたのだ。

私たちが3階に着くと、そのアパートのドアは少し開いていた。

グレグスがドアを押し開け、私たちは皆、中へ入った。

中は何もかも暗く、静まり返っていた。

私が刑事のランタンをつけると、突然、私たちは恐ろしいものを見た一床の上のたくさんの血だ。

閉ざされた部屋から来る赤い足跡が床にあった。

グレグスはそのドアを開け、前方にランタンを掲げた。

私たちは皆、その部屋の中を見た。

がらんとした部屋の床に、私たちは血の円が頭の周りに付いたとても大きな男を見た。

彼の首には大きなナイフが刺さっており、手のそばにはまた別のより大きなナイフがあった。

「ゴルジアーノだ！」とアメリカ人の探偵は大きな声で叫んだ。

「ゴルジアーノだ！ 誰かが私たちより先にここに来たんだ！」

「窓にろうそくがあります、ホームズさん」とグレグスが言った。

「だが、あなたは何をしているんです？」

ホームズはそのろうそくをともし、何度か窓を横切らせるように動かした。

そしてそれを吹き消し、下へ置いた。

「これが役に立つと思いますよ」と言うと、彼は他の二人のところへ歩み寄った。

「レバートンさん、あなたはこの建物から3人が出てきたと言いました」とホームズは言った。

「あなたは彼らを見たのですか？」

「はい、見ました」とレバートンは言った。

「黒っぽい髪で、ひげを生やした20歳から30歳ぐらいの男はいましたか？」とホームズは尋ねた。

「はい、いました」とレバートンは言った。

「私はその男が犯人だと思いますよ」とホームズは言った。

「だから私は彼の夫人をここに呼びました」

これを聞いて、私たちは皆振り返った。

ドアのところに、背の高い、美しい女性がいた—ウォーレン夫人の謎の下宿人だ。

彼女はゆっくりと部屋に入ってきた。

彼女の顔は青ざめ、おびえた目は床の上の巨大な男の死体を見ていた。